



日本海沿いの絶景区間を走るリゾートしらかみ



なまはげの面などが展示される「なまはげ館」

車窓風景を楽しみながら、鉄道の旅を満喫

# 鉄道で旅する 羽越・五能線旅情

5日間



集合・日数・出発日	旅行代金
【東京駅集合・5日間】 10月13日(月), 11月10日(月)	¥268,000

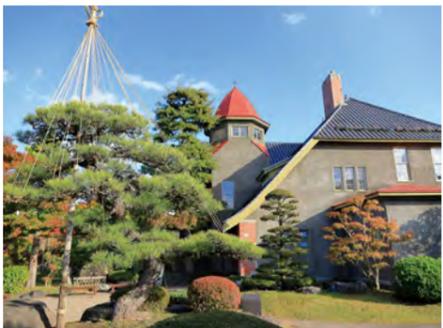
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥21,000にて承ります。)  
現地合流プラン:新潟駅合流(出発)/新青森駅離脱(帰着) 旅行代金より ¥27,000引き

1	東京駅 10:15 発 (上越新幹線) ⇨ 新潟駅 12:17 着 12:41 発 (JR特急・羽越本線) ⇨ (笹川流れの絶景) ⇨ 鶴岡駅 14:30 着 (●庄内藩校致道館、●致道博物館を見学) 【2連泊】(鶴岡泊) □ □ 夕
2	終日、庄内の港町、酒田の見学へ。午前、●本間美術館、●本間家旧邸宅を見学。昼食は、北前船がもたらした料亭文化が残る相馬楼にて、踊りとともにお召し上がりいただけます。午後、●山居倉庫を見学後、鶴岡に戻り、●鶴岡教会、●大寶館に立ち寄りませす。 (鶴岡泊) 朝昼夕
3	鶴岡駅 10:13 発 ⇨ JR特急・羽越本線 (象潟海岸) ⇨ 秋田駅 11:57 着 ⇨ 男鹿半島 (●男鹿真山伝承館、●なまはげ館、○入道崎など) ⇨ 秋田 (秋田泊) 朝昼 □
4	秋田 08:19 発 (リゾートしらかみ・五能線) ⇨ 木造駅 12:02 着 ⇨ 太宰治ゆかりの町金木 (●太宰治記念館、●津軽三味線会館では、三味線の生演奏も見学) ⇨ 金木駅 16:12 発 ⇨ (ローカル私鉄「津軽鉄道」) 五所川原駅 16:38 着 ⇨ 弘前 17:30 着 (弘前泊) 朝昼夕
5	午前、弘前市内の見学。○弘前城公園、●藤田記念庭園などを見学します。昼食は、注目を集める弘前フレンチをご賞味いただけます。弘前駅 14:46 発 ⇨ (JR特急) ⇨ 新青森駅 15:12 着 新青森駅 15:52 発 (東北新幹線) ⇨ 東京駅 19:04 着 朝昼 □ ご自宅までお荷物を託送します。

■最少催行人員:12名様 ■食事:朝食4回、昼食4回、夕食3回  
■添乗員:東京駅ご出発時から、東京駅ご到着時まで同行します。  
■ホテル:鶴岡/東京第一ホテル鶴岡(洋室)、秋田/ホテルメトロポリタン秋田(洋室)、弘前/アートホテル弘前シティ(洋室)  
■利用予定バス会社:庄内交通、いでは交通、秋田中央トランスポート、弘南バスまたは同等クラス  
■利用予定運送機関:新幹線、JR特急、JR快速列車、普通車指定席を利用



レベルの高い弘前フレンチ(イメージ)



日本と西洋の文化が融合する町(藤田記念庭園)

秋田が誇る民俗行事がなまはげです。1978年に重要無形民俗文化財に指定、2018年にはユネスコの世界無形文化遺産に登録されています。ツアーではその伝統が今も残されている男鹿を訪ねます。なまはげの特異神事が行われる「真山神社」や、100種類以上の個性的ななまはげの面

## 【3日目】秋田、男鹿半島 「なまはげ」の里 世界無形文化遺産

内部は、和洋折衷の独特の空間となっています。また窓絵はステンドグラスの代わりに透明な紙に描いた聖画を2枚のガラスで挟んだもので、日本でもここでしか見られないものです。

## 【4日目】JR五能線 日本海の絶景ルート

秋田駅から絶景鉄道として名高い五能線を走る観光列車「リゾートしらかみ」に乗車し木造駅へ。八郎潟の稲作地帯や白神山、日本海の絶景・千畳敷海岸、百名山のひとつ岩木山など、東北の海と山の絶景を車窓からご覧いただけます。また、津軽三味線の実演、五能線ならではの特産品の販売など、車内では青森の文化を楽しむことができます。(注:車両プログラムは変更される場合があります)

## 【5日目】弘前 和洋が融合する津軽の都

弘前では、歴史と文化が薫る町を散策します。かつて津軽弘前藩が学問に力を入れた文教都市だったため、外国からも多くの学者を誘致。そのため城下町のところどころに、西洋建築物が点在。東洋と西洋が融合するレトロタウンができ上がりました。

弘前滞在の2日目の昼食は、弘前フレンチです。市内には多くのフランス料理のレストランが点在。各レストランのシェフたちが、素材にこだわったフランス料理を競っています。ツアーでは「奇跡のリング」、「友情リング」で知られる「レストラン山崎」にて、ランチコースを味わいます。



美しい海岸線が印象的な五能線(イメージ)



酒田の繁栄の歴史を伝える山居倉庫。今も現役



老舗料亭「相馬楼」では、酒田舞娘の歌と踊りを観賞しながらの昼食を含めました



鶴岡カトリック教会は日本のキリスト教文化の歴史を今に伝える「豊の教会」のひとつ

豪華列車「四季島」や、観光列車「36ぶらす3」などを利用した鉄道の旅が好評いただいております。このような観光列車だけでなく定期列車を利用して、快適な鉄道の旅はできないかと考えたのがこのツアーです。日本を代表する絶景路線を選択しましたので、移動中の車窓風景をお楽しみいただけることでしょうか。駅から見た町の風景に、道路とはひと味違う線路から見た風景……。旅情あふれる景観はもちろん、

北前船の寄港地として栄えた酒田と鶴岡。港のある酒田は多くの産物が集まる貿易港として、それに対して鶴岡は貿易で栄えた豊かな庄内の、文化、歴史の中心地として多くの文化を育んできました。現在も港町酒田には、物流の

ん、地元の味覚や、その町ならではのプログラムを含めた訪問地はどれも魅力的。鉄道で旅をしている気分を大切にしてツアーを組み立てました。この企画では、日本海の美しい海岸線が印象的な羽越本線と五能線。沿線には酒田、鶴岡、弘前などの歴史の町が点在し、旅情もたっぷりのルートです。

中心としての歴史ある建物が残り、京都から北前船で辿り着いた花街文化を体験することが出来ます。鶴岡には教育の中心となった藩校や多くの洋館をご覧ください。鶴岡でぜひとも訪れたい「豊の教会」鶴岡カトリック教会

# 鉄道の旅を盛り上げる 東北文化にふれるひととき

城下町鶴岡を訪れたら、ぜひ訪れたいのが「鶴岡カトリック教会」です。1903年(明治36年)に建てられた明治ロマネスク様式建築の傑作と称えられ、国の重要文化財に指定されています。フランス人のパピノ神父の設計で、日本人の大家、相馬富太郎が棟梁となって建築したといわれます。世界でも貴重な、日本で唯一の「黒いマリア像」が安置され、豊敷の

